

## 2023年度

科目名称	公衆衛生看護学演習
授業コード	BK406
英語名称	Public health nursing Seminar 1
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	糸井 和佳 (医療科学部), 本田 順子 (医療科学部), 高木 悦子 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	コミュニティ全体を看護の対象として捉え、地域の人々の生活と健康を多角的・継続的・包括的にアセスメントし、地域で生活する人々の顕在的、潜在的健康課題を明確にすることは、保健師活動の基盤となる能力である。本科目は、地域診断の理論と方法を理解し、保健所・保健センター実習で実際に担当する地域の地域診断を行い、地域の健康課題を明確にすること、さらに導き出された健康課題に対し、対象となる人々のニーズに基づく健康教育の企画・実施・評価を行う。これらは演習を通して学ぶ科目である。 健康教育の実施においては、実習施設に出向き、健康教育を行う事業と健康教育のテーマを決定し、対象集団に合わせた健康教育の企画立案、指導案・媒体の作成など、集団に対する健康教育の技術を体得する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本科目では、保健師としての実務経験のある教員が、地域診断ならびに健康教育の講義・演習を行う。
到達目標	この科目は、ディプロマポリシーの「地域で暮らす人々の多様な文化、生活背景、価値観を尊重し、個人・家族および地域の健康レベルに応じた地域包括ケアを実践する基礎的能力」「科学的な根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力」を修得する科目であり、カリキュラムポリシーの「地域の健康課題の解決のための個人・家族・集団・地域への継続的支援ならびに住民のニーズを事業化・施策化できる保健師教育科目」に該当する。 1. 地域診断の理論と方法を理解できる。 2. 対象地域の身体的・精神的・社会文化的側面から客観的・主観的情報を収集しアセスメントできる。 3. 対象地域の顕在的・潜在的健康課題を抽出することができる。 4. 健康課題を踏まえて地域住民を対象とした健康教育を企画・立案・実施できる。 5. 健康教育を行う事業の保健福祉計画における位置づけを理解することができる。 6. 健康教育を評価できる。
計画・内容	第1回：4月10日（月）1限 テーマ：ガイダンス、実習地域について、地域診断の意義、目的、理論と方法 内容：演習 の概要（地域診断演習、健康教育演習） 担当：糸井（保健師）  第2回：4月10日（月）2限 テーマ：地域診断演習 担当地域のアセスメント 対象地域の特性・健康課題を特定するための既存の資料、HPからの多角的・経年的な収集と分析 内容： 担当：糸井（保健師）  第3回：4月17日（月）1限 テーマ：地域診断演習 担当地域のアセスメント 担当地域の社会資源の可視化 内容：白地図マッピング 担当：糸井（保健師）  第4回：4月17日（月）2限 テーマ：地域診断演習 内容：既存の資料の多角的・経年的な収集と分析、地区踏査計画 担当：糸井（保健師）  第5回：4月24日（月）1限 テーマ：地域診断演習

計画・内容	<p>内容：地区踏査 担当：糸井（保健師）</p> <p>第6回：4月24日（月）2限 テーマ：地域診断演習 内容：地区踏査 担当：糸井（保健師）</p> <p>第7回：4月24日（月）4限 テーマ：地域診断演習 帰学、地区踏査結果、既存の資料の整理のまとめ 内容：健康課題の抽出と健康課題を解決するための自治体の方略 担当：糸井（保健師）</p> <p>第8回：5月8日（月）1限 テーマ：地域診断発表会 内容：実習地の地域診断発表とコメントにて修正 担当：糸井・高木・本田（全員保健師）</p> <p>第9回：5月9日（月）2限 自治体と打ち合わせ（テーマ・事業） テーマ：健康教育の企画書立案 内容：テーマの決定、企画の意図、目的・目標設定、健康教育の評価計画（企画・実施・結果）の立案 担当：糸井・高木・本田（全員保健師）</p> <p>第10回：5月15日（月）1限 テーマ：健康教育の指導案作成 内容：対象集団への健康教育の指導案作成 担当：糸井・高木・本田（全員保健師）</p> <p>第11回：5月15日（月）2限 テーマ：健康教育の指導案作成、媒体作成 内容：対象集団への健康教育のセリフの作成 担当：糸井・高木・本田（全員保健師）</p> <p>第12回：5月22日（月）1限 テーマ：健康教育のデモンストレーション、発表会オリエンテーション 内容：実際の対象集団をイメージした分かりやすい媒体（ppt）作成、準備 担当：糸井・高木・本田（全員保健師）</p> <p>第13回：5月22日（月）2限 テーマ：健康教育演習（学内発表） 内容：グループ毎に健康教育の実施、コメントをもらい修正、評価計画立案 担当：糸井・高木・本田（全員保健師）</p> <p>第14回：5月29日（月）1限 テーマ：健康教育の修正、見直し、実習にむけた準備 内容：健康教育の修正、実習中の地域診断のための追加項目の整理 担当：糸井・高木・本田（全員保健師）</p> <p>第15回：5月29日（月）2限 テーマ：公衆衛生看護学実習にむけた目標の見直し、修正 内容：グループ毎に実習計画の確認、事前学習の追加 担当：糸井・高木・本田（全員保健師）</p>
授業の進め方	<p>本科目は、公衆衛生看護学実習の中で行う地域診断と健康教育の事前準備科目である。公衆衛生看護方法論で行った地域診断と異なる地域での実習を行う学生は、情報収集を進めておく。健康教育を行う事業やテーマについては、実習施設と学生が主体的に相談して決定する。打ち合わせ日程が先方の都合により前後するため、出来るところから進めておく。グループごとに時間外も含めて準備が必要となる。健康教育企画書・指導案は実習指導教員の指導を受ける。学内で準備した健康教育に対し、地域住民を知っている実習施設の指導者から、よりよい健康教育のための修正を求められることもありうるので、実習中にも修正を行う。</p>
能動的な学びの実施	<p>保健所・保健センターの管轄の地域について、既存の資料、地区踏査を通して得た情報を統合し、地域の特徴と健康課題をグループで抽出する。地域の健康課題を踏まえて、実習施設の指導者との打ち合わせを学生が主体的に行い、健康教育のテーマの決定、実施に向けた企画立案評価と準備を実施する。</p>

## 2023年度

授業時間外の学修	実習施設管轄地域の情報収集、アセスメント、健康課題の抽出、実習中に行う健康教育の企画書・指導案・媒体を時間外も利用して完成させる。(合計30時間程度)
教科書・参考書	教科書 ・田高悦子、金川克子著 地域看護診断第2版 東京大学出版会 ・国民衛生の動向 2022/2023 (厚生省の指標2022年8月増刊)
成績評価方法と基準	地域診断(50%) 健康教育企画書・指導案・媒体(50%) 毎回の授業への参加度、課題への取り組み状況にて評価を行う。
課題等に対するフィードバック	地域診断、健康教育企画書・指導案・媒体・健康教育実施・評価に対するコメントを行う。
オフィスアワー	要予約 アドレス: itoi@ntu.ac.jp
留意事項	保健師教育課程の学生は必修科目である。 それ以外の学生は履修不可。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、ZOOMでオンライン授業を行う。成績評価方法については、地域診断(50%) 健康教育企画書・指導案・媒体(50%)で行う。